

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	しおさい公園管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課			
		予算科目	8 款 5 項 2 目	事業番号	3756	所属長名	三谷 陽紀		
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	皆川 竜男		
法令根拠等	都市公園法、伊予市公園条例					実施期間	【開始】	平成 20 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造						【終了】	平成	年度(予定)
	住みやすい都市空間づくり								☒ 設定なし
総合計画における本事業の役割	スポーツに親しめる環境づくりに努める。								
事業の対象	しおさい公園利用者				事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容(整備内容)	しおさい公園の維持管理運営				昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）							
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
直接事業費		62,134	60,447	0	0	0	60,236	公園内整備満足度		%	74	80		72
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0							
	県支出金		0	0	0	0	0							
	地方債		0	0	0	0	0							
	その他		306	0	0	0	311							
一般財源		62,134	60,141	0	0	0	59,925	修繕費・工事請負費		千円	6073	5449	1247	5267
職員の人工（にんく）数		0.20	0.20				0.20							
1人工当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086							
※ 直接事業費＋人件費		63,742	62,064				61,853	委託料		千円	55251	53903	26849	53903
主な実施主体		直接実施及び指定管理		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		指定管理料 53,698千円								
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計			
						70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	350,000			
成果指標	指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数				単位	⇒	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標 毎年度		
						目標		1.01	1.01	1.01	1.01			
	指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりを目指すためにも、施設の利用者数増が事業の評価と考えた。						実績	1.33	1.47				
	指標で表せない効果													

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）											
事業 <											

施策を踏まえた判断	二次判定	☒ 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 グランドゴルフ場、球技場の人工芝、2017愛顔つなぐ愛媛国体によりここ数年は利用者、収入も増加している。球技場ナイターも休みなく利用者がいるが、2018年以後は利用者も収入も減少する。 特に国体開催以後のホッケー利用者の年間予約や利用状況を調査研究したうえで、余りにも利用度が低い場合には、人工芝の青色サッカーラインを白色、黄色に変更する必要がある。 また、バスケットボールコートやグランドゴルフ場をウォーミングアップ場として活用して、収入増向上を目指す検討を。 更には近隣市のように使用備品には別途、使用料を徴している。老朽備品買い替えのためにも検討をする。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐ 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
------------	------	------------------

今後の方向性（ACTION）

の経営最終者判断議	事業の方向性	☒ さらに重点化する。 ☐ 現状のまま継続する。 ☐ 右記の点を見直しの上、継続する。 ☐ 事業の縮小を行う。 ☐ 事業の休止、廃止を行う。	コメント欄	二次判定の内容を踏まえ、さらに重点化すること。
-----------	--------	--	-------	------------------------------------